

とつきび

2022/ 3

No.97

発行／最上ふれあい学園

編集／最上ふれあい学園広報委員会

〒999-6105 山形県最上郡最上町大字富沢4467

TEL 0233-45-2236 ・ FAX 0233-45-2011

HPアドレス：<http://www.vega.ne.jp/~mogamifg/>

Eメールアドレス：mogamifg@vega.ne.jp



P 2 ~ 3 雪祭り

P 4 ~ 5 フォトコーナー／豪雪地での苦勞／給食紹介

P 6 障がい児支援事業／向町小学校福祉授業
／新職員紹介／編集後記

目次

第32回 雪まつり



アトラクション



今年はお汁粉



あったか〜い♪

雪まつり

2022.2.10



2月10日(木)に第32回雪まつりが開催されました。今年も昨年同様コロナ禍での開催となりましたが、万全の対策のもとで開催しました。

今シーズンは大雪となり、雪不足の心配はいりませんでした。雪まつり当日は天気も良く風もなく雪まつり日和になりました。

アトラクションはスキー、スノーモービル、ソリ滑り、凧あげをしました。利用者の皆様は好きなアトラクションを笑顔で楽しんでいらっしゃいました。冷えた体にはお汁粉をいただき温まりました。

雪まつりの締めくくりにお祭灯をして、皆様の健康と、今まで通りに過ごせる日が来ることをお祈りしました。

【行事企画担当 花谷周平】

厨房スタッフによる
手作りお弁当です!!

【メニュー】

- ・赤飯
- ・お刺身
- ・スパゲティー等
- ・豚汁

おいしかったね!



豪雪地での苦勞

ここ最上の地では当たり前のように雪が降り、そのための対策を施していますが、大型の除雪車を2台保有し、万全の準備を整えています。それでも今年の大雪は大変な苦勞を伴っています。寅年は大雪に見舞われるとの話もあるようですが想像以上の大雪に毎朝起きるとため息がもれます。

また、重機オペレーターの人件費や燃料代、快適な生活環境を確保するため暖房用燃料など、特に今期は燃料の高騰により大きな負担となっています。

朝の5時には職員が出動し施設の周りを除雪することで問題なく施設生活が行えています。3月の後半までは同様の生活が続きますが、事故の無いように除雪をしていきます。(記事 佐藤義浩)



給食紹介

食の好みや体調の変化に気づいたりコミュニケーションをはかるためにも、食事はとても重要です。利用者様に合わせ、様々な食形態で対応し咀嚼や嚥下が難しくなってきた方でも歯茎でつぶせるような見た目も鮮やかな軟らか食の提供など、食べる楽しみをもっていただけ工夫を行っています。

人気メニューのラーメンは手作りチャーシュー、鶏ガラや香味野菜でとった出汁、代々伝わるこだわりのレシピで食堂いっぴいいい香りが広がります。カレーの種類も様々で小さく切った野菜をたっぷり使ったり、節分の日の大豆入りのカレーはとても好評でした。

毎食行う残食量調査で残食が多いと感じられるのは緑の葉物を使ったメニューです。緑黄色野菜を取り入れ、柔らかく煮たり、卵としじしたり、あんかけ風にしじたり、好みを探りながら食べていただけるように工夫しています。

ここ二年は外へ出かける機会も減りました。少しでも豊かな四季や学園での行事を楽しんでいただけるよう食堂内も様々な装飾を行い、明るい雰囲気を作り利用者様の笑顔と健康のためにおいしい食事の提供に取り組んでいきます。(栄養士 高橋 恵)





「相談支援事業所サポートセンターみらい」では、令和4年4月より最上町で初めて、障がい児相談支援事業を開始することになりました。今まで障がい児の方が福祉サービスを利用する為には、主に新庄市の相談支援事業所を利用しなければならぬ状況でした。「福祉の町・最上町」は高齢者福祉は充実しています

が、特に障がい児福祉においてはまだまだ不十分と感じております。今後は、発達障害を含めた障害のある児童の心身の状況や環境、または本人、保護者の思いを考慮したサポートを大切にしていきたいと考えております。

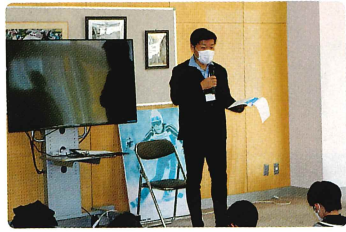
尚、お電話での相談も可能です。



0233(32)0789

担当/野桑 義明

向町小学校 福祉授業



昨年11月16日、最上町社会福祉協議会さんを通じて、向町小学校4年生51名を対象に福祉授業の時間をいただき、障がい者福祉についてお話をさせていただきました。主な内容は「障がいのある方が安心して暮らせるように」ということで進めましたが、児童の皆さんがメモを取りながら真剣に話を聞く様子には、「福祉の町・最上町」の理念がしっかりと受け継がれており、町を支える頼れる人材は



確実に育っていると確信した貴重な時間でした。
(記事 野桑 義明)

新職員の紹介

さいとう ひろし
支援員 齊藤 浩 さん



- 趣味：温泉
- 自己PR：

沢山食べ飲み、健康で不器用だけど性格良い。よろしくをお願いします。

編集後記

今年も雪まつりでお祭灯さいとを行い、ご利用者様、職員の内一年の無病息災を祈願しました。このお祭灯ですが全国的には小正月行事として行う火祭りが、最上町では「おさいと」と銘打って行われており、名前の由来として諸説ありますが道祖神であるサイの神に、灯りの「ご」が付いたものと言われています。以前にも書きましたが、日本には自然崇拜があり、「八百万(やおよろず)の神」という様に木や自然、物に至るまで神が宿っていると考えられている国です。またキリスト教や仏教など海外から伝来されてきたものも、うまく日本文化に取り込む事が出来る懐の大きな民族であると思います。このコロナ禍で変わった生活様式を取り込みつつ、ふれあい学園の基本理念である「和顔愛語」でこの先10年、20年とご家族、地域の皆様、そして何よりご利用者様に愛される施設でありたいと考えております。

(記事 岡野達朗)